

学校便り

やさか

合い言葉「超升先輩」



2025年5月20日
中津川市立坂下中学校
「自立・共生・創造」
生徒数134人

学校を創る生徒会

校長 久野 智治

5月8日に生徒総会が開かれました。本年度の生徒会スローガンは、「『創り上げる』～誰もが居心地良く 過ごしやすい坂下中～」です。生徒会執行部や各委員長がスローガンや取組を伝え、生徒会員で質疑応答や意見交流を行いました。



本年度は、「誰もが通ってよかったと実感できる学校」を目指しています。そのためには、「楽しい」「鍛えられた」と生徒が感じられるような指導を続けることが必要だと考えています。生徒が創造すること、その過程で自治力を身に付ける生徒会活動もその一つです。さらに、「坂下中ならではの・・・」も必須だと思っています。生徒会も興味深い取組やイベントを考えてくれます。よりよい学校を創るために、生徒会の動きに大いに期待しています！

本年度から変わっています

○日課の変更

- ・朝の始業を5分遅くしました（8:05～読書、8:15～朝の会）。生徒の登校に若干余裕が生まれているようです。
- ・昼休みを10分長くしました。外で元気に遊ぶ生徒がかなり増えました。また、生徒会活動に十分取り組んだり、勉強や読書など、生徒の興味関心に応じて時間を使えるようになったりしています。
- ・合唱練習の時間を削減しました。生徒が誇りに思う合唱を行うために、より自主的な合唱への取組を推奨します。

○「スリンプルプログラム」の実施

- ・週1回、全校で時間を設けて行っています。ペアやグループでジャンケンをして、示されたお題にそった話をしたり聞いたりします。この活動で自他発見しながら、子ども達の“かわり力”を養っていきます。

（お題の例）家で何をしているときが好き？ 行ってみたい県は？ など

○Foresight 手帳の導入

- ・これまで「学習計画ノート」を使用し、家庭学習の充実と計画力の向上を図ってきました。更に発展させ、自己をモニタリングし、目標と見通し（長期、中期、短期）をもって生活する「自己調整力」を養うよう、「Foresight 手帳」の活用を始めました。

○中間テストの廃止

- ・これまで、実力テスト、期末テストに加え、中間テストを行ってきました。定期的に学習内容を確認し定着するという意味では効果はありましたが、行事と並行であったりより短期的な見取りが必要などの課題がありました。日を設定した中間テストは行いませんが、それぞれの教科に応じた学習の定着度を測ることを行っていきます。

○警報発表時の対応について

- ・これまで、午前10時時点で警報が解除されていなければ臨時休校としていましたが、午前6時30分時点で警報が発表されている場合は、臨時休校となります。中津川市立小中学校統一となりましたのでご承知置きください。

上記のことや学校の様子は、学校 HP に掲載しています。ぜひご覧ください。

https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/soshikikarasagasu/school/sakashita_jhs/index.html

